

令和4年度 学校評価書

大津市立田上中学校

分析・考察

生徒	・昨年度に引き続き、多くの生徒が、田上中には悩みを打ち明けたり自分を励ましたりしてくれる人がいると回答しており、心強く感じる。しかし、少数ながら頼りになる人がいないと回答した生徒もいることから、生徒が悩みを気軽に相談することができるような体制や雰囲気を整える努力を継続していきたい。 ・登下校や学校での生活の中で、安全について意識をしている生徒が多い。安全についての指導を繰り返してきたことによって、生徒にも自らの安全を守ろうとする意識が強くなっている。生徒の交通マナーについては、まだまだ自転車の並走や飛び出しなどの課題があるため、登下校時の交通安全について、特に下校時の交通マナーについて今後も指導を継続していきたい。 ・多くの生徒がいじめを無くそうとする気持ちを強く持っている。小さなことにでもしっかり向き合い、いじめを許さない集団にしていこうための指導が奏功している。引き続き指導をしていきたい。 ・学校生活に満足しているかという項目に、満足していると回答した生徒が多いが、満足していないとする生徒の思いを丁寧に聴き、次年度以降の改善につなげていきたい。 ・授業の工夫、わかりやすさに関する項目では、多くの生徒が分かりやすい授業を先生方が工夫してくれていると感じている。めあてをしっかりと示し、グループ学習など、学び合い学習を積極的にすすめることが生徒の意欲にもつながったと考える。また、ICT機器の導入などにより、より「視覚的なわかりやすさ」をすすめることができた。 ・家庭学習の充実のために、生徒が学習を習慣化できるように家庭と連携を図っていきたい。
保護者	・学校では安全で安心できる教育活動を推進していると、多くの保護者の回答が得られた。来年度も、生徒の安心、安全を意識した指導をすすめていきたい。 ・学校がいじめに対して素早く的確に対応していると評価をいただいた。今後も組織的な対応により、いじめを根絶できるようにしていきたい。 ・道徳の授業参観には、多くの保護者の方に参観していただいた。今後も授業参観の機会を増やしていくことで、学校での指導のようすを発信していきたい。 ・学習意欲の向上や基礎基本の定着、応用発展力の育成のための学習指導を工夫して行っているが、まだ不十分であると考え保護者も多い。ICT機器の活用など、学習環境を活かし、視覚的なわかりやすさを意識した指導を行うなど、引き続き学習指導の工夫に努めたい。
学校関係者	・生徒の学習のようすを久々に参観していただき、落ち着いた授業のようすについて感心されていた。また、学び合い学習が生徒の自信にもつながると評価していただいた。今後も生徒の学ぶ力を高める授業ができるように校内・校外での研修をすすめていきたい。 ・学校夢づくりプロジェクトとして取り組んだボランティア活動について、自主的・自発的な生徒の活動のようすを評価していただいた。来年度も、全体的な気運を高め、生徒の活躍の場となるように引き続き活動をすすめていきたい。 ・毎月の学校だよりで生徒が活躍している様子をよく知ることができたと評価していただいた。今後も、さまざまな方法で地域や保護者に対して学校のようすを発信できるようにしていきたい。 ・田上の地域の歴史や魅力を再認識するような学習ができないかというご意見があった。今年度は、一年生の総合的な学習の時間で「地域学習」をすすめたが、今後は、他学年でもできないかを探りたい。また、教師自身も地域のことについて研修をする場を持ちたい。
教職員	・小グループによる学び合い活動は、「田っ中まなびのスタイル」の共通実践により、どの授業でも定着し、すぐに話し合える形態は確立されている。また、ICTを活用し、視覚的に学習を支援したり、意見交流の機会を増やしたりすることで、「深い学び」につなげることができた。今後も、さらに研修をすすめることで、生徒が主体的に活動する場を意識的に設定できるようにしていきたい。 ・感染症対策の影響で学校関係者との交流・協議の場が減ったが、来年度からのコミュニティスクールの設置を機に、地域と一緒にどのように生徒を育成していくかを考えていきたい。 ・小学生向けの部活動体験やいじめ防止の交流会などが実施できた。小学生に中学生の成長した姿を見せることもよりよい連携につながった。今後も、生徒同士の効果的な交流ができる場を設定できるようにしていきたい。 ・『田上地域の子どもを見つめる会』を中心に連携をすすめることで、進級時の大きなトラブルを回避できた。今後も、連携を深めていけるようにしていきたい。 ・保護者の不安を取り除き、子どもに落ち着いて向き合えるように、スクールカウンセラーの助言を得たり、様々な関係機関と連携したりして、事案に対応していきたい。 ・個々の生徒の困り感を全教職員で共有し、個別最適な学びがすすめられるようにしていきたい。

次年度に向けての提言

校内の研修をさらにすすめていくことで、授業の改善をさらにすすめて、すべての生徒が主体的に学習に取り組むことができるようにしていく。また、学校が楽しいと感じたり、学校が悩みを打ち明けたり励ましたりしてくれる環境であると感じたりできるよう、今後も不安定になりやすい生徒に対して寄り添える学校であり続ける努力をしていきたい。

ボランティア活動については、地域の方からも高い評価をいただいた。来年度も、多くの生徒がすすんで参加できるように、どのような形態で行っていくかを考え、生徒がさらに地域に貢献できるよう、これまで以上に充実させていきたい。